

新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備

健康医療部健康づくり推進課

新型コロナウイルスワクチンをスムーズに接種できる体制を整備
～個別接種を基本に集団接種で補完～

■ 事業名

新型コロナウイルスワクチン接種事業

■ 目的

感染対策の決め手と期待されるワクチン接種について、医療従事者や高齢者など段階的に開始されることから、希望する方全員がスムーズに接種できる体制を万全にするため必要となる予算を措置するものです。なお、接種は強制ではなく、任意接種です。

1 接種計画の概要

○対象者 市民全員 112,792人 (R3.1.1現在)

- | |
|-------------------------------------|
| ①医療従事者等 3,383人 |
| ②65歳以上の高齢者 33,608人 (うち施設入所者 1,073人) |
| ③高齢者施設の従事者 1,691人 |
| ④基礎疾患のある方 7,105人 |
| ⑤一般の方 67,005人 |

※人数の内訳は、厚労省の算出方法による推計値(②を除く)

○接種までの流れ

1	対象者(個人)宛てに市からクーポン券(接種券)、予診票(1回目)発送 (高齢者3月下旬*~、それ以外4月下旬*~)
2	クーポン券を受領後に本人が電話、Web、LINEで予約(3月下旬*~)
3	クーポン券、予診票、本人確認書類を持って予約日時に接種会場へ (高齢者4月上旬*~、それ以外5月上旬*~)

※時期は状況により変更となる可能性があります。

○接種体制 ①個別接種(市内の医療機関)②集団接種会場 (資料1-3のとおり)

○特記事項

接種回数	1人2回(21日間隔、28日間隔:ワクチンの種類で異なる)
自己負担額	無料
周知方法	全戸配布チラシ、広報紙、ホームページ、SNS

2 ワクチン接種庁内体制・主なスケジュール

新型コロナウイルスワクチン接種対策本部を設置(令和3年2月19日)

⇒ 本部長(市長)、副本部長(副市長、教育長)、本部員(関係部長等)

担当部局	担当事務	主な業務内容	スケジュール※			
			2月	3月	4月	それ以降
総務部	人員体制の整備	人員体制の確保 各部作業スペースの確保	■			
総合政策部 経済部	電算システム改修	クーポン・接種記録システム改修	■	■		
	クーポンの印刷・郵送	高齢者分印刷・発送	■	■	■	
	予診票の印刷・郵送	高齢者分印刷・発送	■	■	■	
市民相談室 行政委員会 総合政策部 健康医療部	相談体制の確保	相談センター開設 予約センター開設 副反応の相談先の周知	■	■	■	■
健康医療部 福祉部	医療機関との調整	医療機関への事前説明会 ワクチン接種体制の調整	■	■		
	超低温冷凍庫の配備	設置医療機関の確定	■			
	高齢者施設の支援	巡回接種検討	■	■		
環境安全部 各総合支所 生涯学習部	医療機関以外の 接種会場の準備	会場の選定・レイアウト作成 集団接種会場の運営	■	■		■
建設部 上下水道部	ワクチンの運搬	運搬車両・シフト調整 接種会場等への運搬・回収	■	■		■
福祉部	要援護者への支援	接種会場への移動支援			■	■
健康医療部	接種（個別、集団）	接種（高齢者から順次）			■	■
こども局 議会事務局 会計課	接種記録入力	予診票回収・審査			■	■
		接種記録システムへ入力			■	■
	支払	費用の支払			■	■
総合政策部 秘書課	市民への情報提供	チラシ準備 広報紙・HP等での情報提供	■		■	■

※スケジュールは状況により変更となる可能性があります。

3 予算額の積算

(単位：千円)

項目	補正予算 10 号	補正予算 12 号	計
人員体制の整備	431	15,413	15,844
電算システム改修	3,314	2,200	5,514
接種券、予診票の印刷・郵送	23,533	16,487	40,020
相談センター・予約センター体制の確保	72,149	13,285	85,434
超低温冷凍庫の配備	0	2,827	2,827
集団接種会場準備、運営	0	7,394	7,394
ワクチンの運搬	0	7,107	7,107
要援護者への支援	0	12,676	12,676
接種費用等	0	522,843	522,843
接種記録入力等	27,206	46,878	74,084
市民への情報提供	165	1,436	1,601
計	126,798	648,546	775,344

■ 補正予算額 648,546千円 【国庫補助金あり】

〔財源内訳〕 国：627,970千円（補助率 10/10）

接種実施医療機関等一覧（予定）

（令和3年2月19日現在）

個別接種 ※50音順

地域	医療機関名	所在地	地域	医療機関名	所在地
加須	いげざわ医院	南篠崎141-5	加須	福島医院	常泉13-1
	梅澤医院	向川岸町4-6		福島小児科医院	久下1-10-3
	おおき内科泌尿器科クリニック	南小浜633-1		富士見町さくら内科クリニック	富士見町14-23
	柿崎耳鼻咽喉科医院	中央1-7-10		本町福島クリニック	本町6-33
	加須ふれあいクリニック	下三俣1790-1		松川クリニック内科・皮膚科	南大桑1494-1
	かぞ南内科クリニック	南町5-18		松村医院	志多見436-1
	加藤子どもクリニック	大門町6-34		矢嶋医院	不動岡3-50-16
	神沼整形外科医院	睦町2-2-21		騎西	騎西病院
	365クリニック	花崎北1-16-5	山崎医院		根古屋642-10
	篠崎医院	大越1460	北川辺	加須市国保北川辺診療所	柳生66-1
	篠原医院	中央1-11-12		宏和会クリニック	陽光台2-883-78
	十善病院	愛宕1-9-16		坂入医院	柳生2094-1
	スピカレディースクリニック	南篠崎2252		むぎくら診療所	麦倉188
	武正医院	中樋遣川1745-1		さくらホームクリニック	柏戸765-7
	つのだ小児科医院	上三俣1132	大利根	大久保病院	砂原286-1
	中田病院	元町6-8		久保クリニック	琴寄304-2
	西山救急クリニック	北小浜408		小林医院	北下新井310-2

集団接種

地域	接種会場	所在地
加須	加須保健センター	諏訪1-3-6
加須	花崎コミュニティセンター	花崎1-22-16
騎西	騎西健康福祉センター	騎西36-1
北川辺	北川辺健康福祉センター	柳生66-1
大利根	大利根健康福祉センター	琴寄901-1

診療・検査医療機関への支援

健康医療部医療体制推進課

コロナ禍において地域医療体制を維持するため「診療・検査医療機関」の看護師人件費を支援

■ 事業名

新型コロナウイルス感染症医療機関支援事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症が拡大する中において、市民が安心できる地域医療体制を維持するため、これまでの支援（通常の診療に加えてPCR検査を実施している医療機関を支援）に加え、「診療・検査医療機関」※として協力いただいている医療機関を支援します。

※「診療・検査医療機関」は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ両方の診療を行い、必要な検査を行う医療機関として県が指定したもの

■ 補正予算の概要

看護師人件費分の補助

2,500円×1h×2人×87日×8医療機関=3,480千円

■ 補正予算額 3,480千円

市が独自に実施するPCR検査の拡充

健康医療部健康づくり推進課

集団感染のおそれが生じた場合に市が必要と認める範囲で実施しているPCR検査の対象を全年齢に拡充

■ 事業名

新型コロナウイルス感染症予防対策事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症について、早期発見により感染拡大を防止するため、集団感染のおそれがある場合、保健所が幅広く行うPCR検査の対象とならなかった16歳以上65歳未満の市民を対象に、PCR検査を市が実施します。これにより、検査の対象を全年齢へ拡充します。

また、感染予防のため、本庁舎及び各総合支所の窓口で使用するボールペン等を除菌するためのアルコールシートを追加購入します。

〔市独自のPCR検査の対象年齢〕

～15歳 補正予算6号（8月）	16歳～64歳 補正予算12号（3月）	65歳～ 補正予算8号（12月）
← 全年齢を対象に →		

■ 補正予算の概要

(1) PCR検査対象の拡充

対象	16歳以上65歳未満の市民
条件	次の全てに該当すること。 ①陽性者の発生が確認され、集団感染のおそれがあること。 ②保健所が幅広く行うPCR検査の対象とならないこと（行政検査対象外）。 ③市がPCR検査を必要と認めること。 ④本人が事前に検査を希望すること。 ⑤市内の医療機関においてPCR検査を受けること。
予算額の積算	PCR検査費 25,000円×200人=5,000,000円

(2) 除菌アルコールシート（各課窓口用）

詰め替え用 @298円×500個×1.1=163,900円

■ 補正予算額 5,164千円

コロナ禍における人権侵害への注意喚起

総務部人権・男女共同参画課

コロナ禍における人権侵害への注意喚起メッセージを入れた除菌ウェットティッシュを配布

■ 事業名

人権推進事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染者や医療従事者及びその家族等に対する不当な差別や人権侵害が顕在化するとともに、DV等の女性に対する人権侵害も増加傾向にあります。

このような状況を受け、加須市として「新型コロナウイルス感染症に起因する人権侵害は、いかなるものも許さない」というメッセージを発信するため、コロナ禍である現状を鑑み、市民が手に取りやすい除菌ウェットティッシュを活用して、市民に注意喚起を行います。

■ 補正予算の概要

○予算額の積算

除菌ウェットティッシュ@55円×10,000個×1.1=605,000円

○外装への印字内容

コロナ禍における人権侵害への注意喚起メッセージ及び相談先

〔イメージ図〕



■ 補正予算額 605千円

ひとり親家庭への食材支援の強化

こども局子育て支援課

コロナ禍におけるひとり親家庭等への食材支援の強化のため、冷凍庫・貯蔵庫の導入費を補助

■ 事業名

子ども食堂支援事業

■ 目的

ひとり親家庭等に食材を提供する「子育て応援フードパントリー」を、新たに関西地域の団体が実施するため、冷凍庫と低温貯蔵庫の導入費用を補助します。

■ 補正予算の概要

補助対象経費

○冷凍庫 40 千円

○低温貯蔵庫 161 千円

■ 補正予算額 201 千円

ちよこっとおたすけ絆サポート券を 高校生世代に配布

経済部産業振興課

高校生世代の生活支援及び市内経済の活性化のため、「ちよこっとおたすけ絆サポート券」10,000円分を配布

■ 事業名

ちよこっとおたすけ絆サポート券高校生世代支援事業

■ 目的

コロナ禍における子育て家庭への生活支援及び売り上げ等が大幅に落ち込んでいる市内の事業者への支援として、児童手当（10,000円/月）の支給が中学生までとなっている中で、多くの方が進学する現状を踏まえ、高校生世代のお子さん（約3,000人）に「ちよこっとおたすけ絆サポート券」を配布します。

■ 補正予算の概要

（1）対象者

令和3年4月1日現在で加須市内に住民登録がある次の方

- ・平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれ（高校1年生世代）
- ・平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれ（高校2年生世代）
- ・平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれ（高校3年生世代）

（2）ちよこっとおたすけ絆サポート券の額面

10,000円

（3）配布方法

簡易書留（郵便局と調整中）

（4）利用可能期間

令和3年5月1日（土）～同年10月31日（日） ※商工会と調整中

（5）利用可能店

絆サポート券取扱店（R3.2.1現在734店舗） ※随時拡充

（6）予算額の積算

- 交付金 35,000千円（絆サポート券10,000円×3,500冊（予備含む。））
- 消耗品費 114千円（宛名シール台紙・封筒）
- 郵送料 1,610千円（簡易書留）
- 委託料 344千円（データ抽出、宛名シール作成）
- 補助金 2,966千円（換金等の事務経費として商工会へ）

■ 補正予算額 40,034千円

売上減少事業者への支援

経済部産業振興課

緊急事態宣言の再発令の影響により売上等が減少した事業者に対して
10万円の給付金を支給

■ 事業名

地域活力応援事業

■ 目的

緊急事態宣言の再発令の影響により売り上げが大幅に落ち込んでいる市内事業者（埼玉県による飲食店を対象とした感染防止対策協力金の交付が受けられる営業時間短縮の要請対象者を除く。）に対し、市独自の給付金を支給することで、市内の幅広い業種に対する下支えと経済の活性化を図ります。

■ 補正予算の概要

（1）支給対象

- 令和3年1月又は2月の売上（事業収入）が前年同月と比較して30%以上減少し、かつ、10万円以上減少した月を有すること。
- 埼玉県による飲食店を対象とした感染防止対策協力金の交付が受けられる営業時間短縮の要請対象者ではない市内事業者であること。
- 法人の場合は令和3年1月1日時点で加須市内に本店を有する事業者、個人の場合は令和3年1月1日時点で加須市に住所を有する事業者であること。

（2）支給額・支給方法・支給時期

一律10万円・口座振込・随時（交付決定通知書省略）

（3）申請期間

令和3年4月1日（木）から同年6月30日（水）まで

（4）申請方法

原則郵送（当日消印有効）

（5）予算額の積算

- 地域活力応援給付金 60,000千円（100千円×600件※）
 - 消耗品費 50千円（ファイルほか）
 - 会計年度任用職員 764千円（4/1～6/30 2名 9時～16時）
 - 時間外勤務手当 218千円（時間外平均単価2,786円×2時間×39日）
- ※〔参考〕セーフティネット申請で30%以上の売上減少約400件

■ 補正予算額 61,032千円